

そこで、今回は観光で訪れたサファリの様子とその取材内容にしぼり、日本の環境と関連づけて学習することにした。私もそうであるが、アフリカ＝自然、動物のイメージを持つ生徒達にとって、ライオンパークやゾウの繁殖がもたらす影響は、大変興味深く驚きの多い内容であったと思う。

研修の内容を実践授業で活かすためには、私たち教師側にしっかりとしたテーマが無くてはならない。どの教材を扱う際も、その点（ポイントのしぼり方）が課題であると感じた。

環境問題というと、人が壊した自然を元に戻さなくてはならない、これ以上壊さないようにしなくてはならない、という概念ばかりが先に立ち、実際にリサイクルを行ったり、排出物質の規制を行うなどの方法ばかりが注目されがちである。しかし、人が文明社会を変えずに生活をする中で、自然環境の改善や保護は大変難しい課題である。人が他の生物や自然環境と共存していくためには、実際に人が自然に手を加える必要性が生まれてくる。環境問題をこの点から検証していくことは、生徒の視野を広げる良い機会だと考えた。本校は目の前に丹沢山系が広がっており、丹沢クライムという行事がある。丹沢のシカも大きな環境問題を引き起こす原因となっている。しかしその根本には、動物の生育域を狭めた「人間の生活」がある。一見遠いように思えるアフリカの国から、もう一度日本を見つめさせたかったというねらいは、今回成功したと思う。

(7) 資料

授業で使用した写真



左：トカゲ
右：ワニ



左：ホロホロ鳥
右：カバの後ろ半身



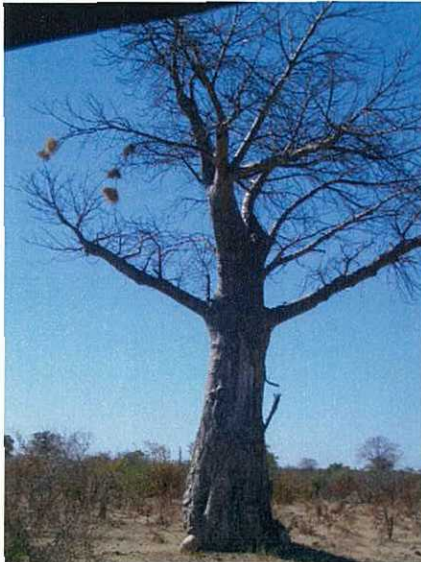
左：クドゥ
右：シマウマ



左：シマウマ
右：セイブル



左：ライラックブレスト
ローザ
右：ペリカン？



左：ホワイトスパロー
の巣
右：ゾウ



左：ゾウ
右：ゾウ



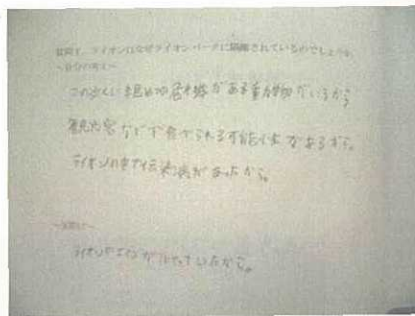
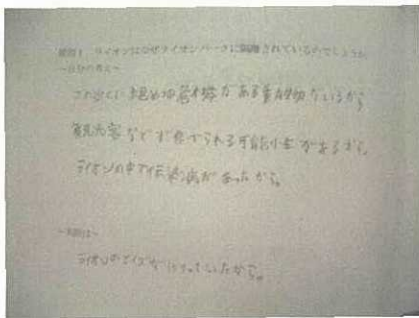
左：ゾウのふん
右：ゾウふんを手にし
たところ



左：ゾウのふんを手にしたところ
右：ふんの中から出たアイボリーの種



左：バオバブの木



プリント記入例

